

発展に繋がると思っています。

「駅」そのものを観光資源に

中嶋市長― 職員のエコ通勤については、市民の皆さんに公共交通の利用促進を呼びかける立場である市の職員がマイカー通勤をしているのは説得力に欠けますし、ご理解を得ることは難しいでしょう。まずは「随（ま）より始めよ」ということで、市の管理職員や担当職員を対象に昨年7月から始めました。職員の利用での貢献はごく僅かですが、

我々の小さな取り組みを継続させ、結果を公表していけば、市民や企業にも広がると思っています。

話は変わりますが、市内の5つのJR駅舎のうち、これまで甲賀駅、油日駅、寺庄駅の駅舎改築を行い、改築後は市の管理委託として運営をしています。これから行う甲南駅舎改築もそうですが、駅周辺の整備を同時



▲一昨年改修されたJR寺庄駅

に行くことで利用しやすい駅をめざしています。また、駅を楽しめる施設として忍者をモチーフにした油日駅、甲賀駅のトリックアートなど特徴のある駅舎をデザインしています。通過地点ではなく目的地としてこれからは「駅」そのものを観光資源として生かせればと思っています。

また、当市の鉄道沿線には中世の城跡をはじめとするたくさんの観光資源があります。まだまだ知られていないものもたくさんあります。今後は鉄道沿線の観光資源についてもPRに取り組みで行きたいと考えています。

と紫香楽宮コース、水口城下町コース、甲賀忍者コースの3コースを設定しています。

また、地元ガイドが案内するDISCOVER WEST ハイキングでは、信楽焼の窯元を散策していただくコースを設定しており、今年の4月から数回にわたり開催し、ご利用いただいています。

藏原支社長― 弊社では、駅からモデルコースをタクシーで観光していただく「駅から観光タクシ」滋賀」という商品をご用意しており、観光協会さんなどの協力を得て貴生川駅より信楽焼

さらに、「滋賀たび」という滋賀県内の観光情報誌を作成し、春号で信楽高原鉄道信楽駅からの窯元散策路、秋号では甲賀忍者ゆかりの地を訪ね、甲賀、甲南



▲市内の見どころが紹介されている「滋賀たび」

駅など沿線駅からの観光地を特集として紹介しています。これらの情報誌は、各号15万部作成して京阪神の主な駅に配置し、お客様にご覧いただいています。このような私どもの宣伝媒体をうまく使っていただき、甲賀市内の観光地に京都や大阪からたくさんのお客様に来ていただきたいと思っています。

藏原支社長― 市の駅舎の改修の取り組みには大変感謝しています。

駅舎の改修に合わせて、駅前広場や駅へのアクセス道路の整備も行っていただき、公共交通全体のネットワークを強化されていることは、大変心強く感じています。

宣伝媒体を

うまく使っていたきたい

中嶋市長― 草津線の歴史は古く、明治22年12月15日に当市民営鉄道の関西鉄道が草津―三雲間を開業したことに始まり、官設鉄道がようやく新橋―神戸間を全線開通させたばかりで鉄道がまだ目新しい時代でした。

草津線は「鉄道時代の夜明け」とともにいち早く誕生した鉄道

また、甲南駅の改修計画でも、エレベーターが設置され、高齢者や、お荷物をお持ちのお客様にとってより使いやすい駅となり、自由通路の設置により線路の両側が行き来しやすくなれば、街の活性化にもつながると思います。計画の深度化を期待しています。

です。その発祥路線としての面影が今も貴生川―三雲間の国分橋、甲南―貴生川間の御庄野橋梁などの煉瓦積みアーチ橋に見ることが出来ます。このように、現存する貴重な「鉄道遺産」も、駅舎同様に市の重要な観光資源としてのPRを行えば、草津線の魅力を高めることとなります。



▲地域の発展には、地元と公共交通の協力が不可欠

駅を中心としたまちづくりを沿線自治体とともに

中嶋市長― 当市としても、そのようなPR効果によって観光客が増えることは大変ありがたいことです。特に「駅から観光タクシ」滋賀」は滋賀県内5コースのうち3コースが甲賀市内の設定をいただいております。タクシ観光という点では、小グループでの利用が見込まれます。

貴生川駅の改札にも大きな看板が出ていますが、もう少し利用が伸びるといいですね。桜井線を「万葉まほろば線」としたように、草津線にも愛称をつけるなどしてPRできればいいですね。

当市では今年度、「公共交通活性化によるまちづくり計画」を策定し、鉄道沿線のまちづくり、

観光誘客、利用促進の方針を示していきます。JR様にもこの計画の策定にもご協力いただいています。これに限らず、当市の公共交通を活かした持続可能なまちづくりに向け、さらなるご支援をお願いします。

藏原支社長― 京都支社では、駅を中心としたまちづくりや、地域の公共交通利用促進に向けた地元自治体主催の協議会等に積極的に参加させていただいています。

公共交通を活かした甲賀市のまちづくりの取り組みについては、弊社も同じ思いです。引き続きよろしく申し上げます。